

平成22年度

耐震設計審査指針改訂に伴う既設プラントの津波解析  
(SMサイト)

技 術 資 料

平成23年6月30日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

# 耐震設計審査指針改訂に伴う既設プラントの津波解析（SMサイト）

## 目 次

1. はじめに	1
2. 地形モデルの作成	2
3. まとめ	5

## 1. はじめに

本業務では、機構から提供される地形データおよび津波波源データを用いて、既設プラント(SM)サイトの津波解析および取水設備の流動解析、津波に伴う海底の土砂移動解析を行う予定であった。ところが、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震津波による福島第一原子力発電所の事故が起り、今回の津波による事故の原因究明等の緊急対応を優先することや、今回の事故から得られる新たな知見が今後の耐震バックチェックに影響することなどに配慮し、3月17日に本業務を中断し、その後予定していた作業は中止することとなった。本報告書は、上記の理由により作業を中断するまでに実施した当該サイトの地形モデル作成、および仮波源による領域接続確認解析作業の内容を技術資料としてまとめたものである。

析は、機構から提供される津波解析コードSANNAMI (+ TUNAMI) を使用して実施した。

本作業の概要を以下に示す。

### (1) 地形データ整備

事業者より提供を受けた地形データおよび機構より貸与された広域地形データとを融合して、サイト周辺の詳細な地形モデルを整備した。

### (2) 整備された地形データの接続確認解析

上記(1)で整備した地形データの接続および地形モデル化の妥当性確認のため、仮波源による解析を実施した。

## 2. 地形モデルの作成

### 2. 1 地形モデルの作成

機構から提供された既存の地形モデルの一部に、事業者から提供された測量データ等を埋め込み、津波解析用の地形モデルを作成した。作成に使用したデータは以下のとおりである。

領域番号	格子間隔 (m)	作成に使用したデータ
A	1,215	Jtopo30、日本近海等深線データ
B	405	日本近海等深線データ
C	135	日本近海等深線データ、海底地形デジタルデータ
D	45	海底地形デジタルデータ、標高データ
E	15	海底地形デジタルデータ、標高データ、事業者提供地形データ
F	5	海底地形デジタルデータ、標高データ、事業者提供地形データ (dx=6.25m)

#### 【海上保安庁データ】

名称	内容
Jtopo30	日本近海30秒メッシュ海底地形デジタルデータ (バイナリー形式)
海底地形デジタルデータ ・ M7013 (隠岐)	沿岸の詳細な1m~10m間隔の等深線データ (アスキー形式)

#### 【国土地理院データ】

名称	内容
数値地図50mメッシュ(標高) ・ 日本-III	『北陸(一部)、中部(一部)、近畿、中国、四国、九州、沖縄』の陸上の標高データ
基盤地図情報 ・ 10mメッシュ(標高)	島根県~鳥取県沿岸領域
・ 5mメッシュ(標高)	宍道、秋鹿、恵曇、玉造、広瀬、母里、伯耆溝口、松江、揖屋、米子、淀江、加賀、境港、美保関、瀬崎、瀬崎(延伸)

解析対象領域の概要を表2.1に示す。

上記元データを用いて整備した各領域の地形モデルの等深線図を図2.1(1)～(6)に、地形モデルの鳥瞰図を図2.2(1)～(2)示す。陸域データの扱いはA～C領域(格子間隔1215～135m)までは全反射、D～F領域(格子間隔45～5m)は遡上境界として、実際の標高地形データをモデル化している。

## 2.2 津波解析条件

2.1で整備した地形モデルを、格子サイズ変更接続部や事業者データと周囲の広域のデータとの接合部において不具合が発生していないかを確認する目的で日本海の中央部に位置する北大和堆付近に想定した仮の波源による津波解析を実施した。

波源モデルの位置および断層パラメータを図2.3に示す。これらの断層パラメータを用いてMansinha and Smylie (1971)の方法で計算した地殻変動量(図2.4)を津波初期水位として与えた。

また、解析時に設定した条件を表2.2に示す。

## 2.3 津波解析結果

領域A～F(5.0m)の解析結果は、以下の図表にとりまとめた。

- ・図2.5 最大水位上昇量分布図
- ・図2.6 最大水位下降量分布図
- ・図2.7 津波水位のスナップショット

スナップショットは初期波形から180分程度である。連続した水位変動およびベクトルの動きは動画ファイルを参照されたい。陸域接合部での水位湧き出し、および海域接合部での反射などの不具合は見られなかった。

以上の解析結果より、本地形モデルは適切に接続されていることを確認した。

### 3. まとめ

本業務は、平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震津波による福島第一発電所等の事故を踏まえた緊急対応のため中断することとなったため、3月17日までに実施した作業として、津波解析用地形モデルの作成の内容を技術資料としてまとめた。

表2.1 解析対象領域の概要

領域 番号	格子間隔 (m)	格子数			備考
		X方向	Y方向	計	
A	1,215	1,033	1,255	1,296,415	既存地形モデル(日本海全域)
B	405	370	490	181,300	Aの1/3メッシュで接合
C	135	631	496	312,976	Bの1/3メッシュで接合
D	45	1,093	667	729,031	Cの1/3メッシュで接合
E	15	757	583	441,331	Dの1/3メッシュで接合 * 地形データ修正
F	5	1,189	646	768,094	Eの1/3メッシュで接合 * 地形データ修正
計	-	-	-	3,729,147	

1

格子サイズ1215m領域 コンター間隔500m

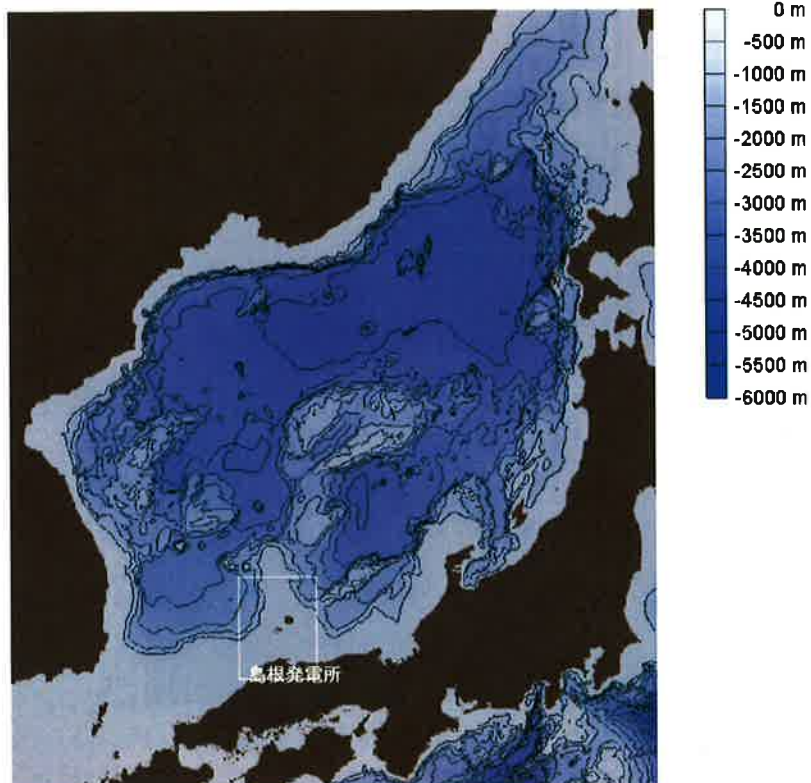


図2.1 (1) A領域地形モデルの等深線図

2

格子サイズ405m領域 コンター間隔250m

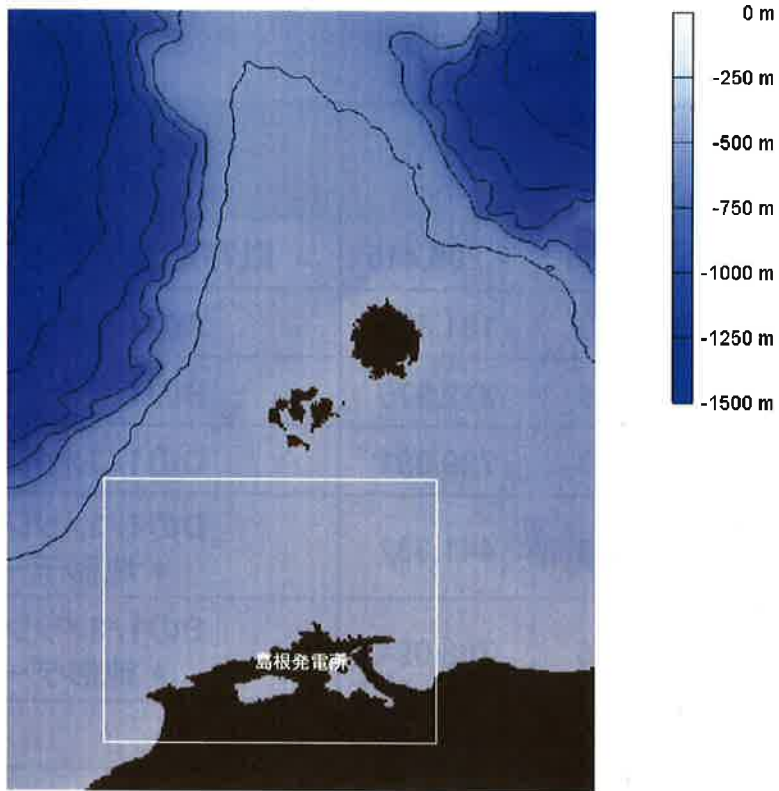


図2.1 (2) B領域地形モデルの等深線図

3

格子サイズ135m領域 コンター間隔20m

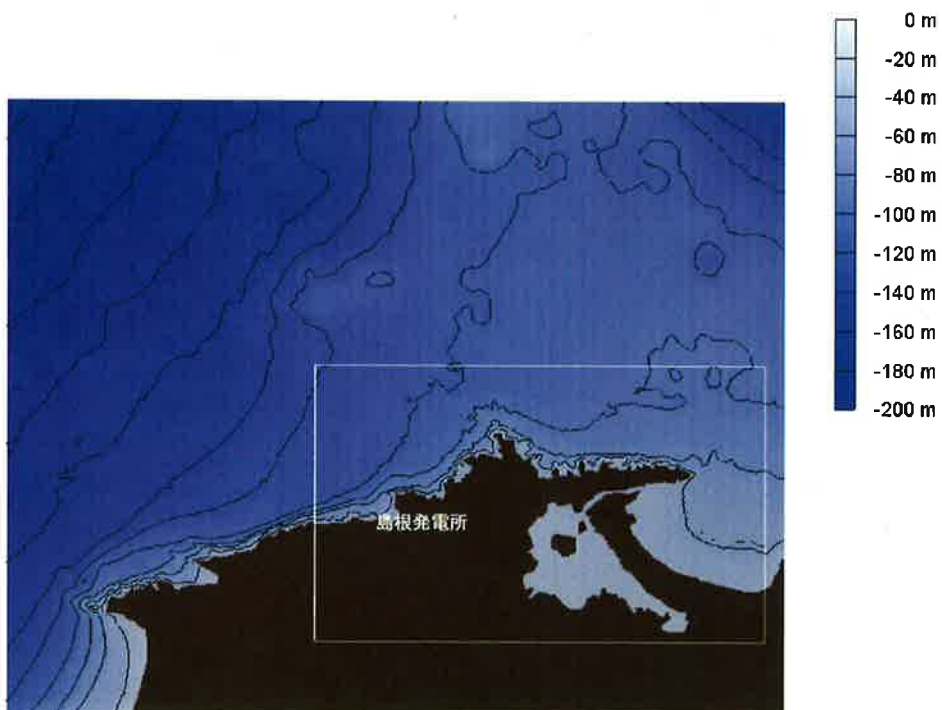


図2.1 (3) C領域地形モデルの等深線図

4



格子サイズ45m領域 コンター間隔10m

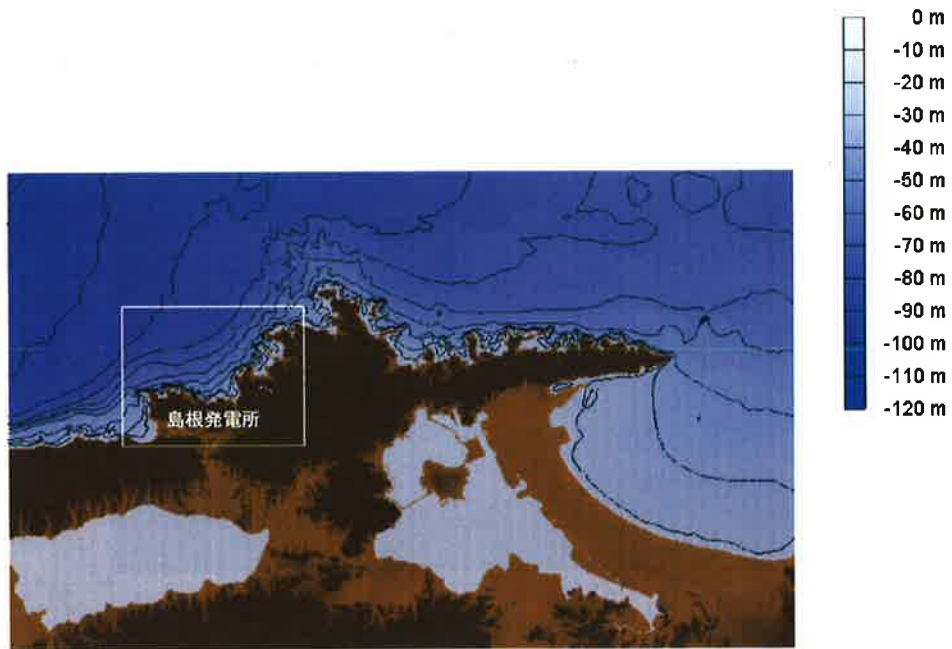


図2.1 (4) D領域地形モデルの等深線図

5

格子サイズ15m領域 コンター間隔10m

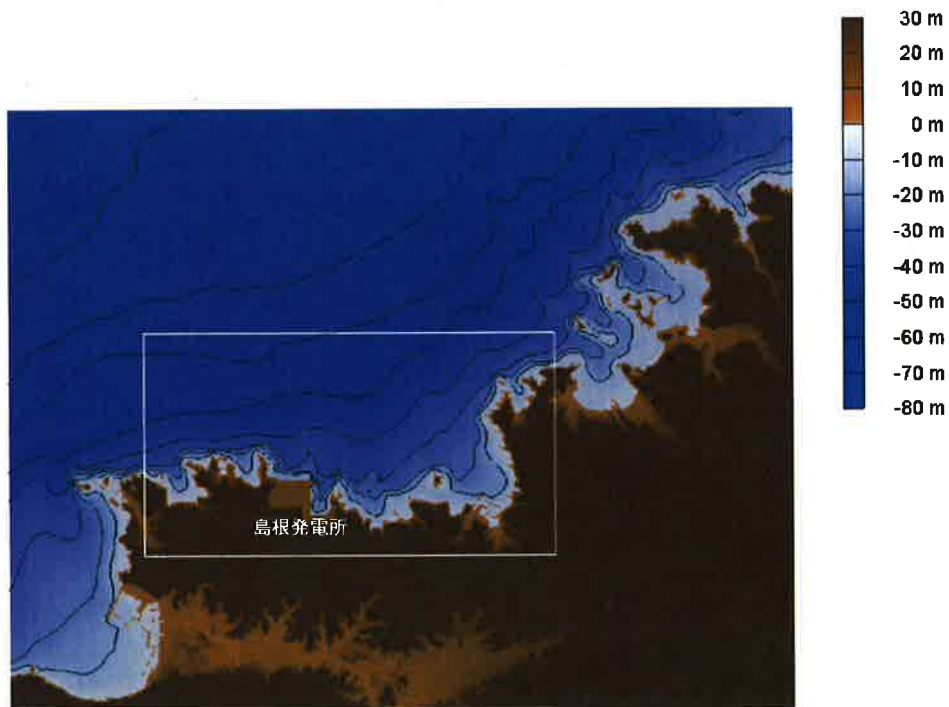


図2.1 (5) E領域地形モデルの等深線図

6

格子サイズ5m領域 コンター間隔10m

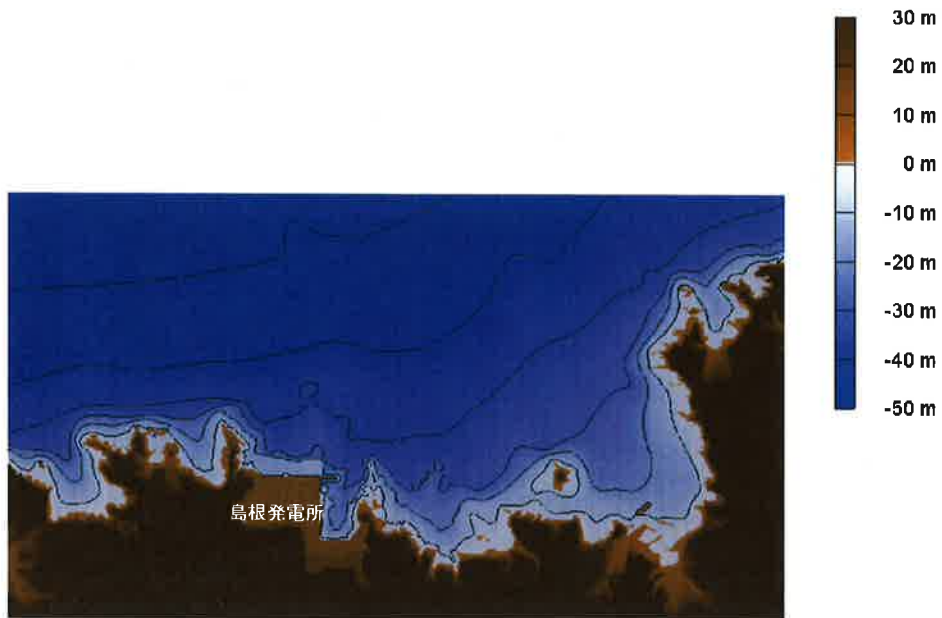


図2.1 (6) F領域地形モデルの等深線図

7

格子サイズ15m領域

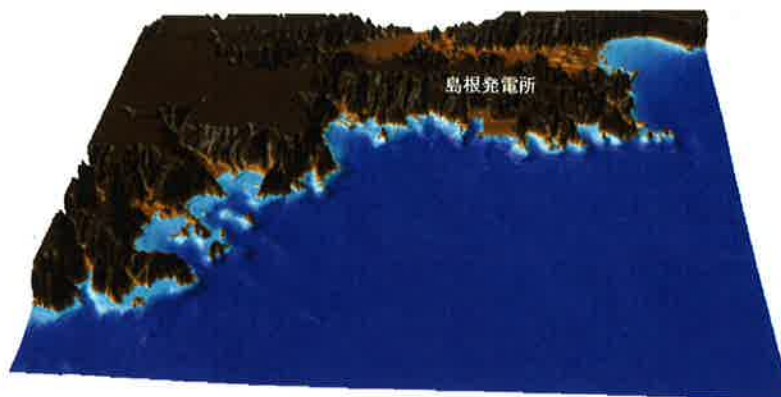


図2.2 (1) E領域地形モデルの鳥瞰図

8

格子サイズ5m領域

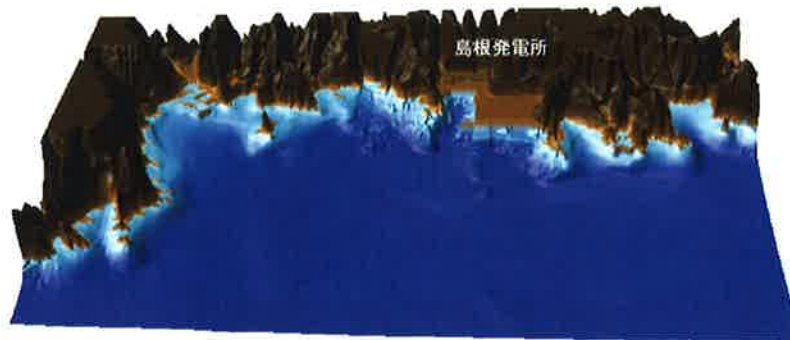


図2.2 (2) F領域地形モデルの鳥瞰図

9

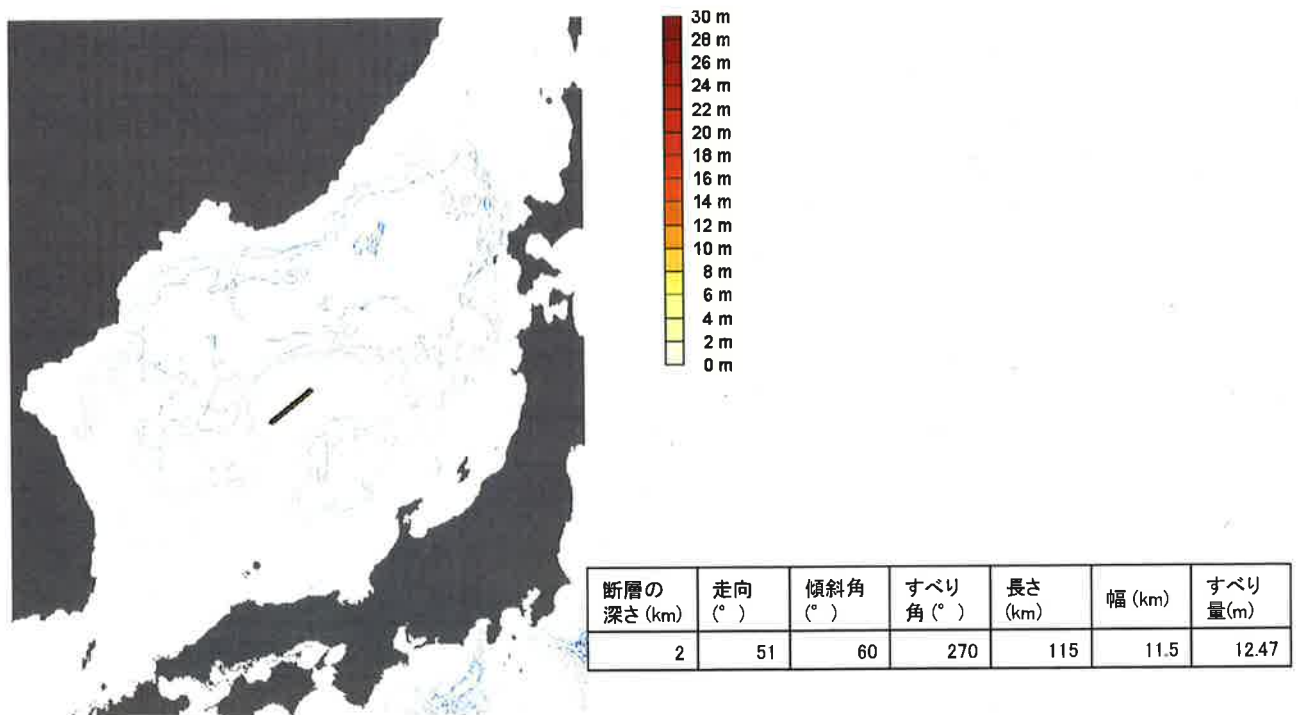


図2.3 仮波源の断層モデルとパラメータ

10

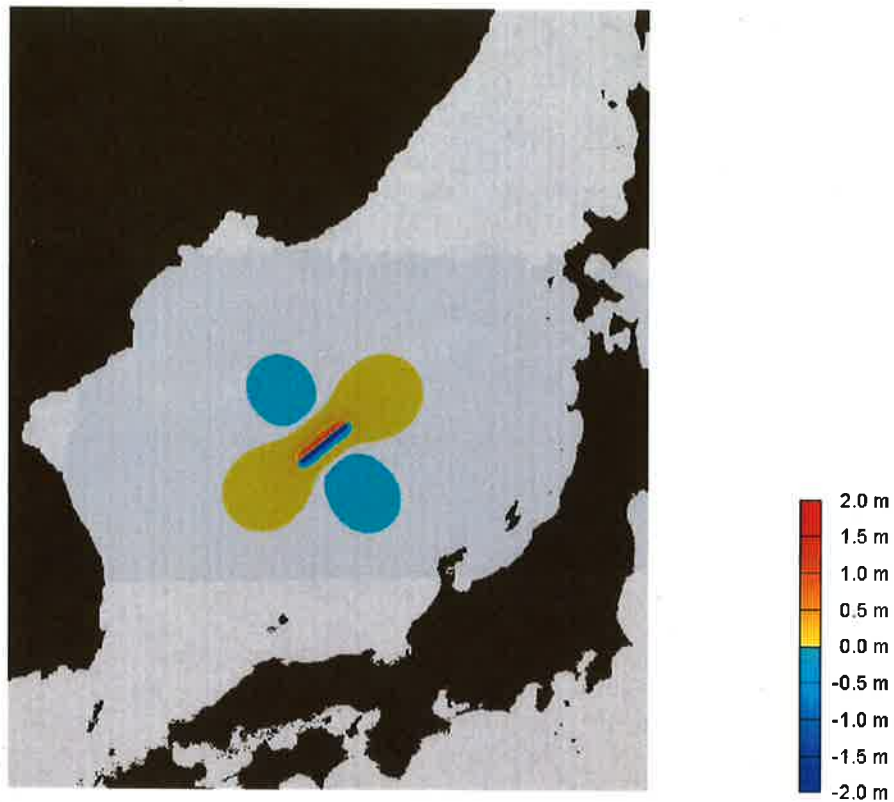


図2.4 仮波源の津波初期水位分布

11

表2.2 解析条件

項目	計算条件
格子分割サイズ	・沖合で最大1215mから、405, 135, 45, 15, 5mと徐々に細かい格子間隔を設定。
	・45~5mの格子分割には陸上を含む。
	・その他の135m及び405m、1215mの格子分割は海域部のみを設定。
計算時間間隔	格子分割サイズに合わせて、1.458~0.006秒と徐々に細かく設定。
基礎方程式	非線形長波理論
初期条件	Mansinha and Smylieの方法により設定
境界条件	・沖側: 日野らの方法による自由透過条件
	・陸側: 遡上領域では小谷らの遡上境界条件
	・上記以外の領域では、完全反射条件及び海底露出を考慮
海底摩擦係数	・マンニングの粗度係数 $n=0.025m^{-1/3}s$
計算対象現象時間	・地震発生後5時間

12

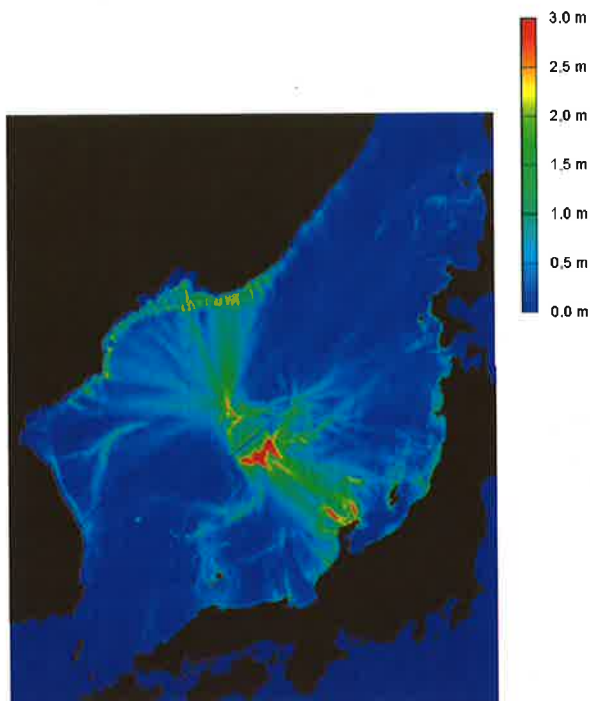


図2.5 最大水位上昇量分布

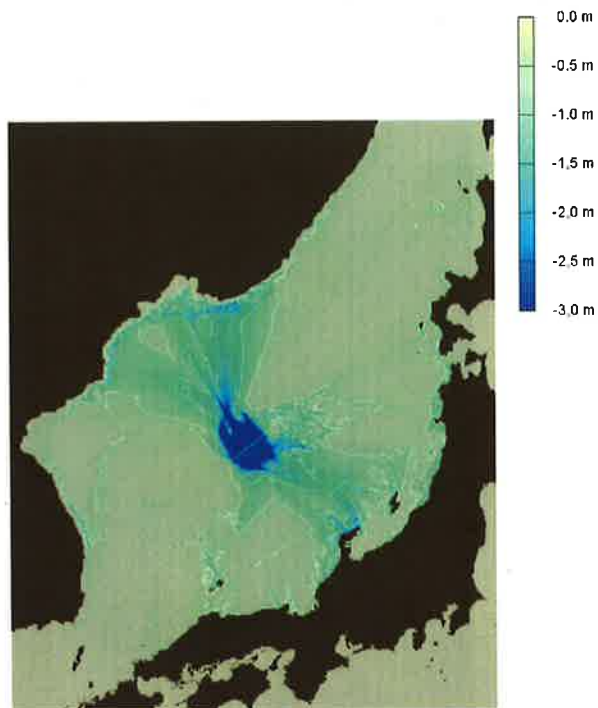


図2.6 最大水位下降量分布 13



0分後



10分後

図2.7 津波水位のスナップショット





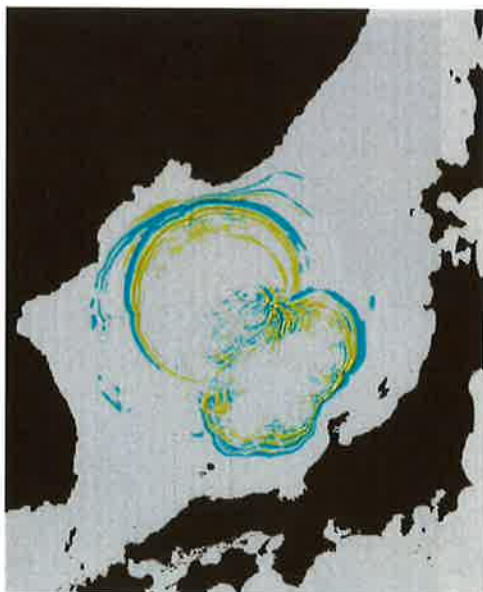
20分後



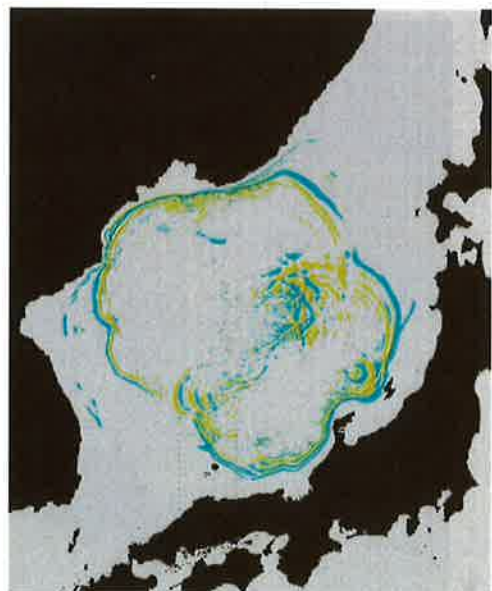
30分後

図2.7 津波水位のスナップショット

15



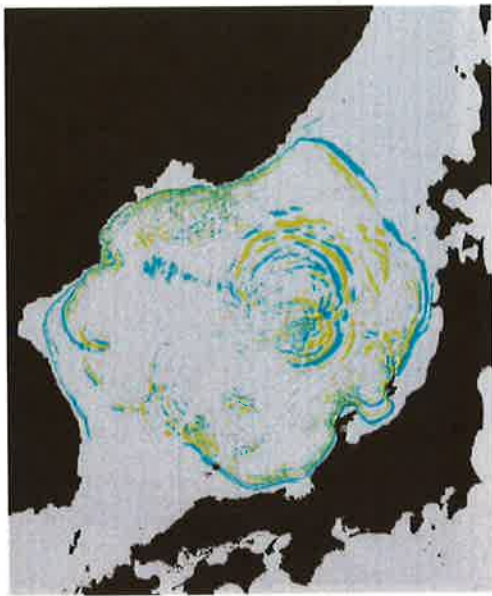
40分後



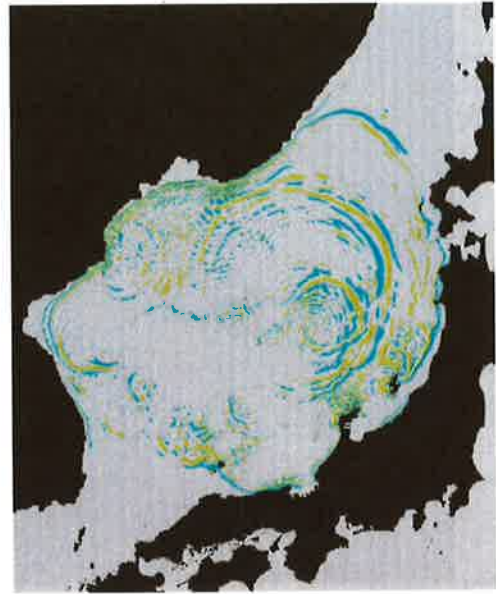
50分後

図2.7 津波水位のスナップショット

16



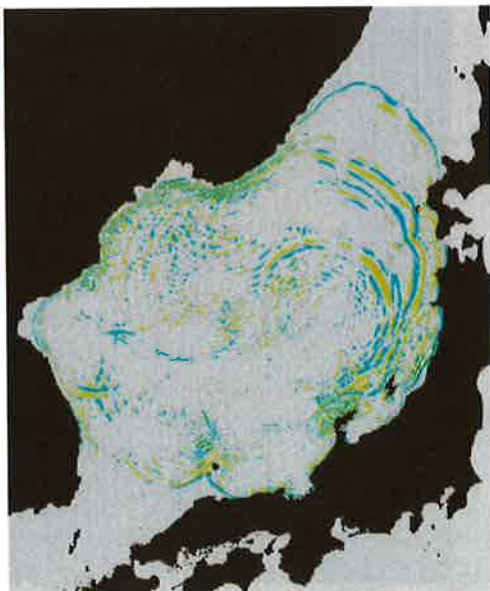
60分後



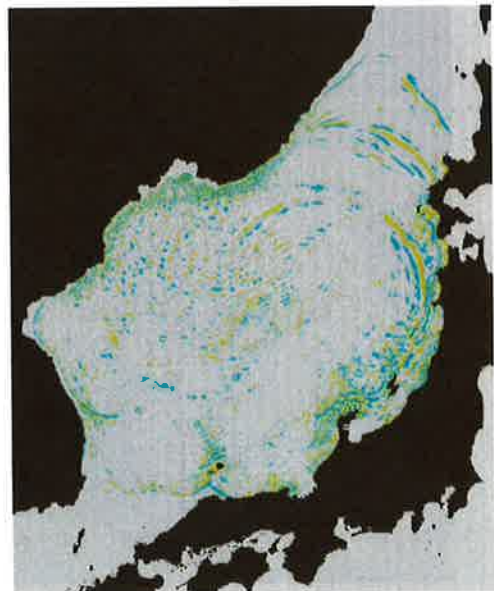
70分後

図2.7 津波水位のスナップショット

17



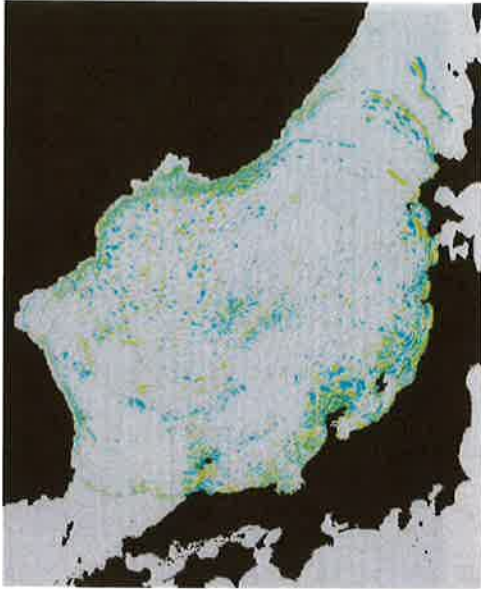
80分後



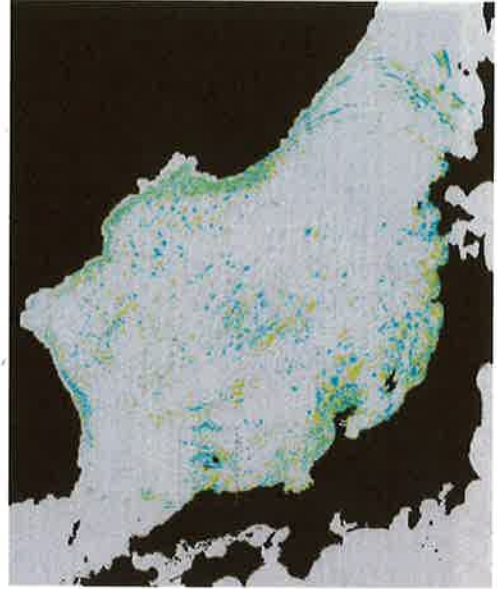
90分後

図2.7 津波水位のスナップショット

18



100分後



110分後

図2.7 津波水位のスナップショット

19



120分後



130分後

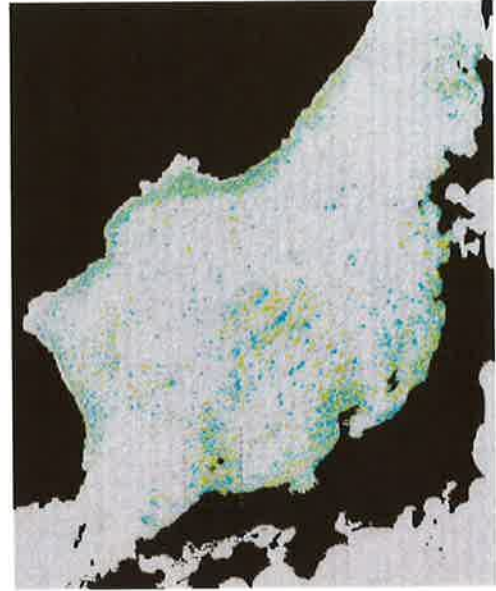
図2.7 津波水位のスナップショット

20





140分後



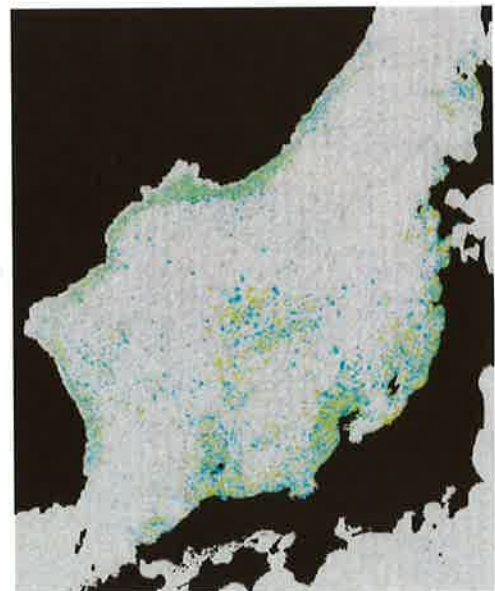
150分後

図2.7 津波水位のスナップショット

21



160分後





170分後

図2.7 津波水位のスナップショット

22

第 1 回打ち合わせ議事録		No	1-1/1
		議事録作成日	平成 23 年 3 月 2 (水)
件 名	平成 22 年度 耐震設計審査指針改訂に伴う既設プラントの津波解析 (SM (QN))	打合せ日時	平成 22 年 2 月 28 日 (月) 時間 16:00~17:00
場 所	(独) 原子力安全基盤機構 会議室	作成者	■■■■ (伊藤忠テクノロジーソリューションズ)
出席者	耐震安全部	杉野様 岩渕様	承認印  杉野
	伊藤忠テクノロジーソリューションズ (CTC)	■■■■、■■■■ ■■■■、■■■■	
資 料	全体工程表、打ち合わせメモ (CTC)		
<p>1. 作業工程について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体工程について(1)津波解析(2)土砂移動解析(3)管路解析(4)ドキュメントの解析、CTC より説明。(CTC)</li> <li>土砂移動用地形作成期間を半月程度早めに実施すること。全体工程の訂正版を再作成してもらいたい (JNES)</li> </ul> <p>2. 作業内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>領域接続部分からの反射については、非対称性については影響しないことを確認した。非線形解析時の境界での線形設定バッファを取り除けるか検討する。(CTC)</li> <li>初期の東北大コードを用いた例題解析を実施して、同様の現象が起きるか確認すること。(JNES)</li> <li>中間報告解析結果のまとめまでコード改良の検討を終了すること。(JNES)</li> <li>地形データは、既存の 1215m・405m・45m・15m・5mメッシュをベースに、事業者の地形データを取り込んで 15m・5mメッシュを新たに作成する。(CTC)</li> <li>解析領域の設定には、事業者の領域に囚われず周辺地形からの反射の影響も考慮して実施すること。(JNES)</li> <li>45m(遡上)領域には再現性確認解析用の痕跡ポイントも含まれるので、これも再作成の対象としたほうがよい。(CTC)</li> <li>中間報告用波源の断層パラメータをご提示いただきたい。(CTC)</li> <li>断層端点の GIS データを用いて、断層の長さから幅と <math>M_0</math> を求めてパラメータを決定する。(JNES)</li> <li>解析時間は波高の変動が収まる時間を見極めるため、はじめは 24H (45m メッシュまで) で解析すること。(JNES)</li> </ul> <p>3. 借用資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の資料を JNES より借用した。(CTC) <ul style="list-style-type: none"> <li>① 津波解析コード (SANNAMI+TUNAMI) 一式</li> <li>② 既存地形データ (日本海全域からサイト近傍まで) 一式</li> <li>③ 事業者データ 一式</li> </ul> </li> <li>貸与資料についてはすべて SE 室内にて使用し、業務完了後すみやかに返却すること。(JNES)</li> </ul>			
以 上			

第2回打ち合わせ議事録		No	2-1/1
		議事録作成日	平成23年3月22日(火)
件名	平成22年度耐震設計審査指針改訂に伴う既設プラントの津波解析(SMサイト)	打合せ日時	平成22年3月22日(火) 時間 15:00~16:00
場所	(独)原子力安全基盤機構 会議室	作成者	伊藤忠テクノソリューションズ <sup>®</sup>
出席者	耐震安全部	杉野様 岩渕様	承認印 
	伊藤忠テクノソリューションズ <sup>®</sup> (CTC)		
資料			
<p>1. 作業の中止について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3/11に起こった東北地方太平洋沖地震の津波による影響が大きく、この津波の原因となる波源の分析や、そこから得られる知見を踏まえたクロスチェックをすることが急務となる。3/17に伝えたとおり、NISAより本件に係るクロスチェック解析の一時中断の指示があったため、本業務の一時中断を申し入れる。これまでの作業内容を整理してもらいたい。(JNES)</li> </ul> <p>2. 作業内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災対応による業務の中断は了承した。これまでの作業内容としては、事業者の地形データを変換して位置確認を行ったうえで、公開のデータとの接合面に不整合がないように接合したD(Dx=45m)~F(Dx=5m)の地形モデルを作成した。仮波源を遠方に設定した解析を実施して、接続境界で不連続な動きがないことを確認済みである。(CTC)</li> <li>・作業内容については了承した。(JNES)</li> </ul>			

## 情報セキュリティが確保されていることに関する書類

平成 23 年 2 月 28 日

独立行政法人 原子力安全基盤機構  
耐震安全部 地震動・津波グループ長 殿

東京都 [REDACTED] 2-5  
伊藤忠 [REDACTED] ンズ株式会社  
執行 [REDACTED]  
科学 [REDACTED]

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（以下「CTC」と略します）グループでは、情報セキュリティおよび個人情報保護について、全社的な取り組みを行っています。その概要を、別紙「CTCグループにおける情報セキュリティに関する取り組み状況」に示します。

「平成22年度 耐震設計審査指針改訂等に伴う既設プラントの津波解析（SMサイト）」は、図1に示す情報セキュリティ体制で実施し、別紙に記載の社内規程・規則を遵守する者、かつ情報セキュリティ・個人情報保護に関する社内教育を受けた者が従事します。

また、本業務の実施において情報セキュリティを確保するために、別紙の社内規程・規則を遵守するとともに、以下に示す項目を遵守します。

- 貴機構から貸与されるデータは、データ管理要領を定めて管理する。
- 貴機構から貸与されるデータは、貴機構が指定する作業場所（SE室）以外に持ち出さない。
- 貴機構から貸与されるデータは、その全部を本業務の実施終了時に貴機構に返却する。
- 貴機構が指定する作業場所（SE室）への入退出は、貴機構の指示に従う。
- 本業務の遂行に際して知り得た一切の事項を、本業務の実施終了後においても、第三者に公表若しくは漏えいしない。
- 本業務の実施のために貴機構から提供される情報、その他本業務の実施において知り得た情報については、その秘密を保持し、また本業務の目的以外に利用しない。
- 本業務の遂行において提供された情報に関して、外部への漏えい・目的外利用等、情報セキュリティ侵害が生じるか、またはそのおそれがある場合には、速やかに貴機構に報告する。
- 情報セキュリティ侵害が生じるか、またはそのおそれがある場合には、速やかに情報セキュリティ対策を協議し、その対策を履行するとともに履行状況を報告する。

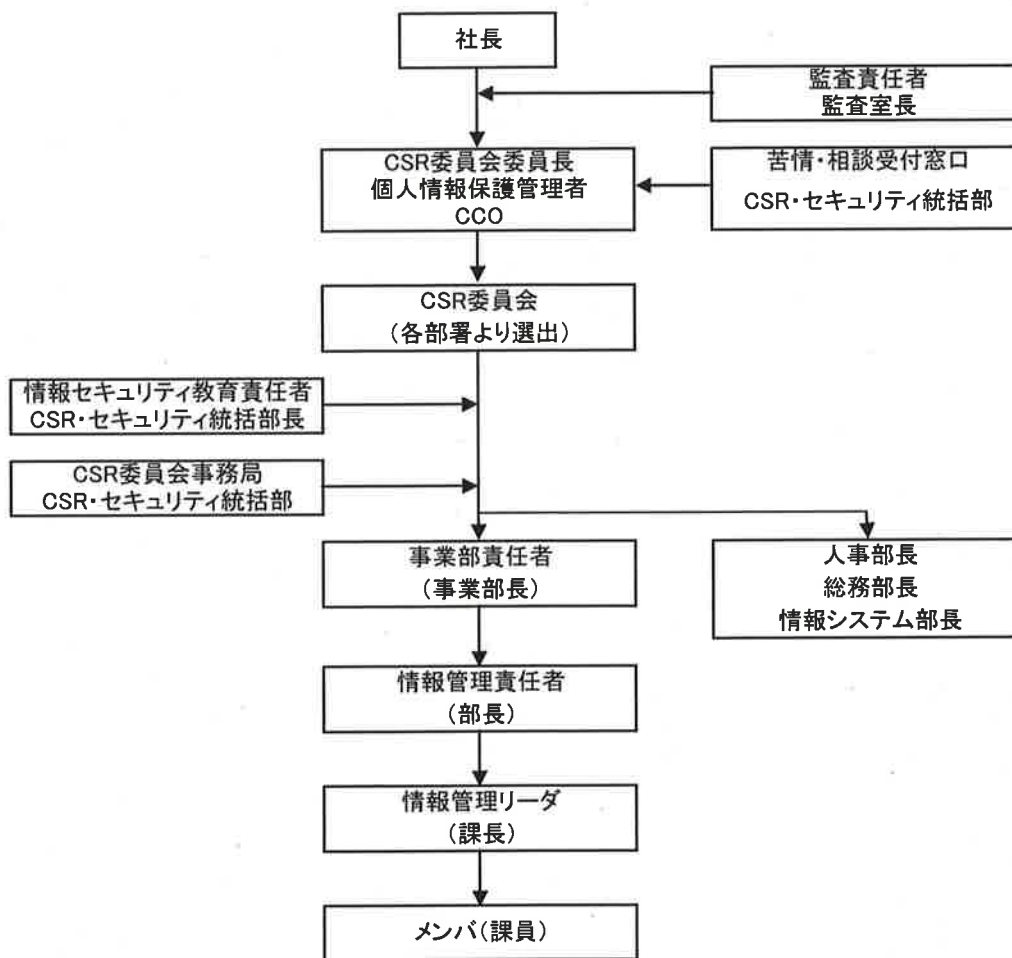


図1 情報セキュリティ体制図

2011年2月28日

## CTCグループにおける情報セキュリティに関する取り組み状況

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
科学システム事業部

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（以下「CTC」と略します）グループにおける情報セキュリティおよび個人情報保護に関する全社的な取り組み状況について、以下に概要を記載します。

### 1. 情報管理全般および個人情報保護に対する取り組み

CTC およびグループ子会社では、JIS Q 27001:2006 および JIS Q 15001:2006 に準拠し、情報セキュリティマネジメントシステムと個人情報保護マネジメントシステムとを統合した「情報セキュリティ・個人情報保護マネジメントシステム」（以下「ISMS」と略します）を構築し、運用しております。

#### ◆ 組織体制について

情報セキュリティおよび個人情報保護に関わる、グループ子会社を含む社内組織体制の概要は以下の通りです。

- 1) 「CSR 委員会」を常設：CSR 委員会は CTC およびグループ会社において設立されております。CTC グループの CSR 委員会は、ISMS のマネジメントレビューも兼ねており、四半期毎に開催しております。
- 2) 「CSR・セキュリティ統括部」を設置（上記委員会の事務局機能も担当）。
- 3) 個人情報保護に関する「苦情・相談受付窓口」を常設：CSR・セキュリティ統括部が担当。
- 4) 部署・サイト単位で正・副各1名の「情報管理リーダー」を発令し設置（ただし、部署の規模により人数は増減：CTC グループ全体で約 850 名）。

#### ◆ 主要な社内規程・規則について

お客さま情報、個人情報、社内情報および会社経営上必要な情報管理に係る主要な規程類は以下の通りです。

- 1) 情報セキュリティ基本方針（セキュリティポリシー：Web に掲載）
- 2) 個人情報保護方針（Web に掲載）
- 3) 情報管理基本規程以下、基準、手順書、雛型等



◆ 教育・啓発活動について

情報セキュリティ・個人情報保護に関する社内教育啓蒙活動の概況は以下の通りです。

1) 教育実施内容

以下の教育を実施しております。

- ① 情報管理リーダ向け、情報セキュリティ・情報管理・個人情報保護の集合教育（毎年）
  - ② eラーニングによる、情報セキュリティ・個人情報保護教育（グループ全役員・従業員対象：2009年度は年2回実施）
  - ③ ISMS リスクアセスメント教育
- 2) 役員研修、部長研修、課長・GL 研修、採用時必須の職種別、職位別研修、新任役職者研修の中に、情報セキュリティ・個人情報保護というテーマの教育・啓蒙を織り込み適時実施。
- 3) 社内イントラネット及び事務所内掲示板に CTC-G 行動・倫理基準、CTC-G 情報セキュリティ基本方針、個人情報保護方針、情報管理 5 箇条・PC 管理 5 箇条、個人情報保護ポスター等を掲示。
- 4) 全社にメールによる通達、朝礼での部長よりの伝達、月例コンベンションでのキャンペーン、社内報での情報セキュリティ記事掲載、毎朝の館内放送（本社および一部自社内放送設備のあるオフィスのみ）による注意喚起等を織り交ぜて実施。

◆ 法令・社内ルール違反に対する対応について

- 1) 違反した場合は就業規則に基づいた処分を社内規程に明記。
- 2) 全役員・従業員からコンプライアンスおよび情報セキュリティ・個人情報保護に関する誓約書を取得済み。

◆ 情報システム・情報セキュリティ監査について

2005 年 1 月より監査室に情報セキュリティ監査チームを設立し、事業会社を含めて情報セキュリティ・個人情報保護の観点からの監査を年に 1 回実施。

1) 2005 年度監査

- ① 情報セキュリティ監査チームにより、情報セキュリティ・個人情報保護に関する内部監査を実施。2005 年 5 月から開始。上期は東日本、下期は西日本で実施。

2) 2006 年度監査

- ① 情報セキュリティ監査チームにより、ISMS 認証対象部署は年に 2 回、それ以外は年に 1 回監査を実施。
- ② 2006 年 10 月 CRC との統合により、旧 CRC についても情報セキュリティ・個人情報保護内部監査を実施。

3) 2007 年度～監査

- ① 監査室より、CSR・セキュリティ統括部へ内部監査業務を引き継ぐ。

- ② CSR・セキュリティ統括部により、情報セキュリティ・個人情報保護に関する内部監査を実施。
  - ③ 旧 CRC 事業会社についても情報セキュリティ・個人情報保護に関する内部監査を実施。
- 4) その他、以下のような監査を実施しています。
- ・ ISMS 定期監査 (認証対象部署について審査機関による年 2 回の定期監査)
  - ・ 監査室による業務監査 (部署循環監査)、コンプライアンス監査
  - ・ 監査法人によるシステム監査 (年 1 回)
  - ・ ISO 9001 準拠の品質システム内部監査 (年 2 回)

◆ 外部委託先に対する取り組みについて

- 1) 「お客さま環境における情報セキュリティ遵守について」:  
2004 年 2～3 月実施済み  
2005 年 5 月～その後の追加取引先に対して追加実施
- 2) 「個人情報保護に関する覚書」締結 (誓約書付き):  
個人情報関連業務委託先と締結
- 3) 「情報セキュリティについての覚書」締結 (誓約書付き): 継続推進中
- 4) 個人情報を取り扱う業務の外部委託については、基本契約締結に先立ち、委託先選定申請書および委託先チェックシートに基づく評価を実施。
- 5) 開発業務委託先に対し、毎年情報セキュリティおよび個人情報保護に関するアンケート調査実施。

2. 個人情報保護・情報セキュリティに関する認定制度等への取り組み

◆ プライバシーマーク対応

- 1) CTC 2005 年 8 月取得  
2009 年 8 月更新 (認定番号: 11820379 (03) 号)
- 2) CRC システムズ 2001 年 8 月取得済み (認定番号: 11820107 (05) 号)
- 3) CRC ファシリティーズ  
2007 年 11 月取得済み (認定番号: 17000008 (02) 号)
- 4) ファーストコンタクト  
2006 年 6 月取得済み (認定番号: 10821363 (03) 号)
- 5) アサヒビジネスソリューションズ  
2006 年 12 月取得済み (認定番号: H820002 (04) 号)
- 6) その他子会社 CTC の情報セキュリティ・個人情報保護マネジメントシステム (ISMS) の規程・基準を準用し実施 (教育・内部監査実施済み)



◆ ISMS 対応

認証証明書番号： 01409-2005-AIS-KOB-JIPDEC Rev.5

初回認証日(ISO/IEC27001)：2006年12月27日

初回認証日(ISMS)：2005年09月22日

発行日及び場所：2010年11月30日 神戸

認証証明書有効期限：2011年09月22日

認証範囲及び、認証部署一覧は CTC オフィシャル HP をご参照下さい。[[www.ctc-g.co.jp](http://www.ctc-g.co.jp)]

3. 情報セキュリティ・個人情報保護に関する運用状況補足事項

社内規程に従った主要な事項の運用概況については以下の通りです。

◆ PC等のセキュリティ管理について

- 1) PCのウイルス対策徹底とOSのセキュリティパッチ適用：原則自動更新、特に重要・緊急な場合には随時アナウンスし適用を確認。
- 2) 全PCに暗号化ツールを導入済み（一部機能検証用等を除く）。
- 3) PCおよび重要情報の社外持出規制：PCは原則社外持出禁止。お客さまからの要請に基づく場合のみ、持ち出し専用PCで一定条件を満たせば持ち出し許可。都度使用履歴を台帳管理。
- 4) 年2回のPC棚卸によるOSとソフトウェアの棚卸調査実施。

◆ 業務に係るシステム環境について

- 1) ID/PWによるアクセス管理、IDによるアクセス制御、上司による定期的確認実施
- 2) IDCにおける業務用サーバの集中運用管理
- 3) Webサーバのセキュリティホールの常時監視サービス実施中
- 4) サーバ構築時不要サービス停止
- 5) 各種セキュリティ情報によるシステム対応

◆ インターネットアクセス・メールの利用制限について

- 1) 業務以外の利用禁止
- 2) ネットワーク機器によるアクセス制限
- 3) メールやWebアクセスのログ取得・追跡可能状態の保持
- 4) フィルタリングシステムによる業務外利用のインターネットアクセス制限および個人メールアドレスへの送信・転送制限実施
- 5) 業務用以外のソフトのダウンロードおよび使用禁止

- ◆ データの授受及び削除等の管理方法について
  - 1) セミナー案内等の DM 用メールアドレスは個人情報保護関連基準 (JISQ15001:2006 準拠) に基づき、専用システムによる一元管理、且つお客様の事前承認取得。
  - 2) お客様からのお預かり情報の取り扱い・管理徹底
    - ① お客様からお預かりしている情報は、全て機密情報として、受渡し確認、厳密なアクセス管理 (施錠されたキャビネットへの保管、アクセス制限をかけたディスクへの保管、ディスクの暗号化等) を実施。
    - ② お客様情報を含む社内情報・文書は、「文書管理規程」により、保管方法、閲覧、複写制限、保存期限を定め、管理。
    - ③ 開発、検証などを目的としてお客様の「生データ」をお預かりすることは禁止 (業務受託契約に基づき、個別のお客様の事前承認がある場合は除外)。
    - ④ 保守作業に伴う機器の交換等で、お客様のデータが含まれたメディアを引き取る場合には、事前にデータを消去して社外へ持ち出し。
  
- ◆ 重要情報・情報機器の廃棄時の対策について
  - 1) PC 等の機器廃棄・返却時はデータ削除処理を行い処分。
  - 2) お客様情報は原則返却。廃棄をお客様から任された場合は、上長の二重確認を徹底。
  
- ◆ その他、重要情報・機密情報の取り扱い制限について
  - 1) USB メモリーの使用は、お客様の特別な指示による場合等を除き、原則として全面使用禁止。
  - 2) Winny などのファイル交換ソフトや SoftEther などのソフトウェア VPN の導入・使用は厳禁。
  - 3) 個人所有の PC の会社への持込や、私物外部記憶メディアの使用は厳禁。
  - 4) Winny などのファイル交換ソフトを導入したことがある自宅・個人所有 PC での会社情報の取り扱いは一切厳禁。
  
- ◆ 入退管理・手続きについて
  - <従業員>
    - ・従業員：社員証
    - ・常駐 1 ヶ月以上の派遣：登録証 (顔写真入)
    - ・常駐 1 ヶ月未満の派遣：短期登録証 (有効期限の印字) の提示
  - <来訪者>
    - ・受付にて社名、氏名を伺い、ゲストバッジを交付し、社員がアテンド
    - ・外来者の執務室入室は原則禁止 (事前申請による CCO 承認必須)

◆ 社外者管理について

- 1) 派遣元、業務委託先など、相手先と機密保持契約の締結
- 2) 本人からの誓約書（自社宛提出分のコピー）取得
- 3) 契約満了時のアカウント削除の励行徹底
- 4) 社員との識別方法：以下を見える位置に常時携帯
  - ・常駐1ヶ月以上の派遣：登録証（顔写真入）
  - ・常駐1ヶ月未満の派遣：短期登録証（有効期限の印字）

以上